

委員会 レポート

委員会活動として、
閉会中に行った所管事務調査の結果内容を、
各委員会は第6回定例会において、
次のとおり報告しました。

総務文教常任委員会

委員長 口田邦男

調査事項 地域交通システムについて

① 弟子屈町の取り組み
弟子屈町では平成21年3月に地域交通総合連携計画を策定、現在、実証運行を実施している。景勝地や温泉地へ訪れる観光客に路線バスを活用してもらうことにより、住民の足を確保しながら、路線バス存続に向けて事業

を行っている。

② 美幌町の取り組み
美幌町は、市街地では利用しやすい循環バスの運行形態を、郊外



美幌町での視察調査

農村部ではスクールバス混乗利用による公共交通体系を再構築するという視点によって、平成21年3月に地域公共交通活性化計画を策定し、実証運行に取り組んでいる。

昨年度の実証運行では、市街地循環バス路線の見直し運行を1か月間実施したが、情報が町民へ十分伝わらず利用が伸びなかつたため、今年度は冬期間も含めて6か月間に期間を定としている。

① 大空町の取り組み

大空町では福祉等の情報をまとめた「せいかつ・あんしんガイドブック」を町内全戸に配布、高齢者にもわかりやすい内容になるよう工夫がされていた。

また、在宅高齢者及び身体に障がいのある方が通院等をする際に

調査事項 高齢者福祉について

産業厚生常任委員会

委員長 奥秋康子

は福祉巡回バス・患者輸送バスの運行も行っている。また、社会福祉協議会と連携を図り、在宅介護機器の貸出しやふれあい交流会を開催するなど、在宅高齢者の生活支援事業を実施していた。

で、理容院や美容院に出向くことが困難な高齢者には訪問理美容サービスや、そのほか寝具の衛生管理のため、布団乾燥サービス等も

提供する。また、在宅介護者の負担軽減を図るため、家族介護者元氣回復事業、寝たきり老人等介護手当支給事業、家族介護慰労金支給事業等の様々な事業を実施している。これらの事業は、保健福祉サービス基金活用事業として行われていた。

今後の課題として、施設入所希望の待機者を減らす対策を講じていきたいとしている。



斜里町での視察調査